

令和3年度

家事・育児に関するアンケート結果



『ご協力ありがとうございました。』

アンケートの趣旨

平成20年に、第1回目のアンケートを行いました。約10年が過ぎ、近年では、男女の在り方が少しずつ変化しており、それを踏まえ、第2回目のアンケートを小学4・5年生の父兄の方を対象に行わせていただきました。

10年前のアンケートの結果と合わせ、今後の男女共同参画活動の推進に役立てたいと思っております。

今回、広く子育て世代の方々にご覧いただきたく、アンケート結果を全学年に配布させていただくことになりました。

アンケート対象者：土庄小学校4・5年生の保護者

実施時期：令和3年5月

土庄町男女共同参画推進委員会

# <目次>

1. 土庄小学校保護者の皆様へ (アンケート分析と今後の展望について)	.....	1
2. アンケート結果		
●「男女共同参画」という言葉をご存知ですか？	.....	2
●あなたの目から見て「男女共同参画」のイメージはどうですか？	.....	3
●学校で男女平等の教育が行われていると思いますか？	.....	4
●男女混合の出席番号をどう思いますか？	.....	5
●ご自身の子どもの頃と比較して男女平等になっていると思いますか？	.....	6
●最近ランドセルに色々な色がありますが、自分の子どもが違った色を欲しいと言ったらどう思いますか？	.....	7
●自分の子どもは「男は男らしく、女は女らしく」育てて欲しいと思いますか？	.....	8
●日常の中で「男のくせに」「女のくせに」という言葉をよく使いますか？	.....	9
●育児以外で父親がよくする家事は？	.....	10
●母親が父親にして欲しい家事	.....	10
●子どもとどんな遊びをしますか？	.....	11
●オムツ交換はしましたか？していますか？	.....	12
●子どもに食事を作れますか？	.....	12
●子どもの行事に参加していますか？	.....	13
●平日、家にいる時間は何時間ぐらいですか？	.....	13
●育児休暇はとりましたか？	.....	14
●子の看護休暇や介護休暇を時間単位で取得することができるようになりましたが、取りたいですか？	.....	14
●企業に育児休暇を取りやすい環境や取組を望みますか？	.....	15
●まだまだ男性の育児休暇が取りにくい状況ですが、何故だと思えますか？	.....	15
●生まれかわるなら、次は男ですか？女ですか？	.....	16-17
3. 関係機関等からの感想	.....	18-19

## 1. 土庄小学校保護者の皆様へ(アンケート分析と今後の展望について)

先日は、男女共同参画に関するアンケートにご協力いただきありがとうございました。10年前と同じ設問で、違和感を感じた方もいらっしゃるかもしれませんが、10年前と現在とを比較検証したかったので、あえて同じ設問でお尋ねさせていただきました。

「男らしく、女らしく育ててほしいと思いますか」には、気にしないと答えた方が14%ポイント増加。思う方が19ポイント減少。「男のくせに、女のくせにという言葉」を使わない方は約6割に増えました。

「食事を作るお父さん」については、10年前は作れる料理が玉子焼き、ラーメンなどが多かったのに対し、現在では「なんでも作れます」という方が何人もいらっしゃるほどレパートリーが増えていてびっくりしました。授業参観参加も半数を超え、各ご家庭の中で家事や育児に参画する男性が増え、確実にこの10年で意識が変化したと感じました。

しかしながら、育児休暇の取得が10年間でほとんど進んでいません。男性中心型の労働環境で、取りたくても取れない現実があり、それが進まない事に歯がゆさを皆様感じていらっしゃいます。

出産・育児・介護等への対応も含め、多様で柔軟な働き方等を通じた仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)がますます重要となっています。また、家事・子育て等の多くを女性が担っている現状を踏まえれば、家事・子育て等を男女が共に担うべき共通の課題とし、パートナーである全ての男性がそれらに参画できるような社会の環境整備を一層推進することが求められます。

男性が育児休業等の取得等により子育てを担い、その後も子育てを積極的に行うことは、育児休業等の取得後も含め母親による子育ての孤立化を防ぐ等の効果があるとともに、職場における働き方・マネジメントの在り方を見直すきっかけともなり、ひいては男女が共に暮らしやすい社会づくりに繋がります。

「生まれ変わるなら、次は男ですか？女ですか？」に関しては、男性が男性を選ぶのが10年前に比べて20ポイント減少、女性が女性を選ぶのが14ポイント減少、どちらでもよいとした方が、男女ともに50ポイントを超え、トップになりました。明らかな男性中心社会が10年で少しずつ変わってきているのを実感しました。

女性も男性も働きたい人全てが、「仕事」と「子育て・社会活動等を含む生活」との二者択一を迫られることなく働き続け、職業能力開発やキャリア形成の機会を得ながらその能力を十分に発揮することが大切です。2021年の日本のジェンダーギャップ指数(GGI)は156国中120位です。まだまだ世界のジェンダー平等まで追いついていません。またその反面、女子に教育を受けさせない、学校に行かせない、人身売買をする国も世界にはあります。常に何がおかしいか、もっといい社会にするには今何が足りないんだろう、と疑問を持ち、未来の私たちの子ども、孫たちがもっと生きやすい社会へと考えていきたいと思えます。

今回のアンケートの結果をご家庭でいろいろ話題にさせていただいたら幸いです。このアンケート結果は、土庄町広報でも少しずつ掲載の予定ですのでご了承下さい。ありがとうございました。

土庄町男女共同参画推進委員会  
委員長 大森 明美

## 2. アンケート結果

### ■結果の見方

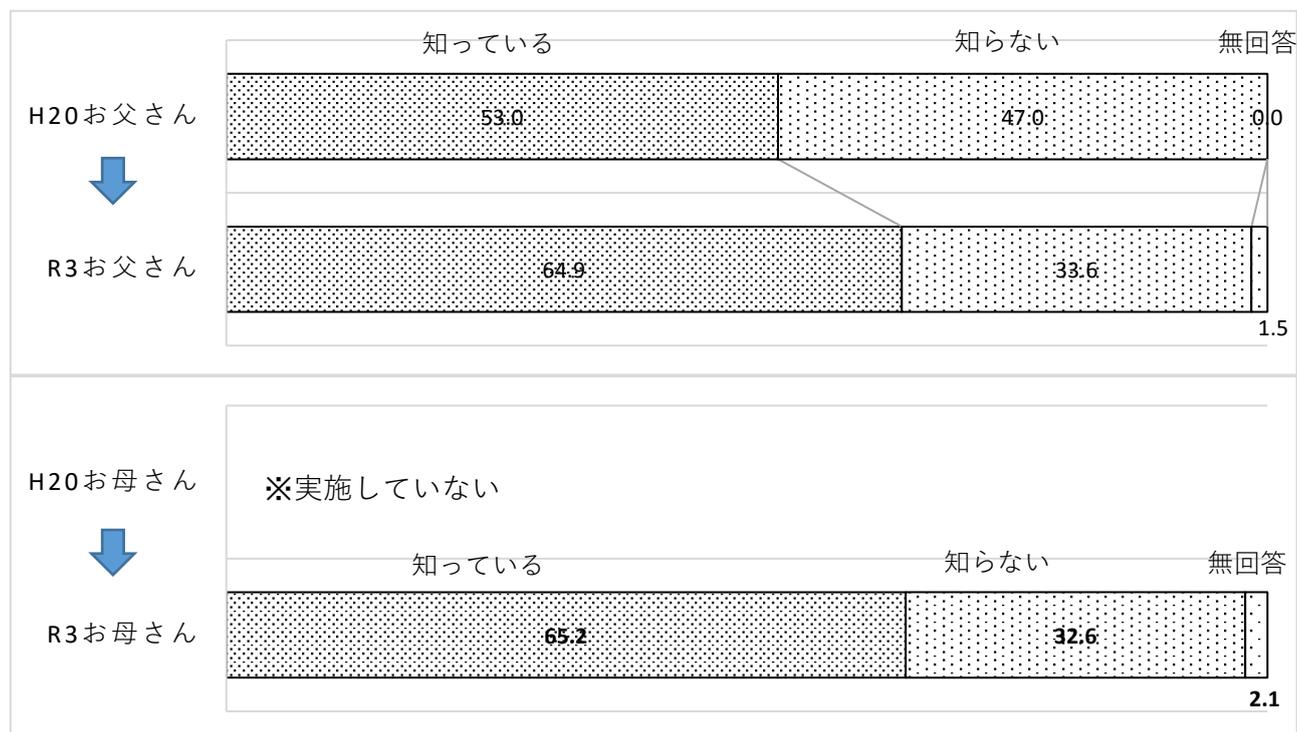
※ 平成20年度 父母とも100人に実施  
(スポーツ少年団の保護者中心)

令和3年度 父131人、母141人

比較しやすいように%で表しています。

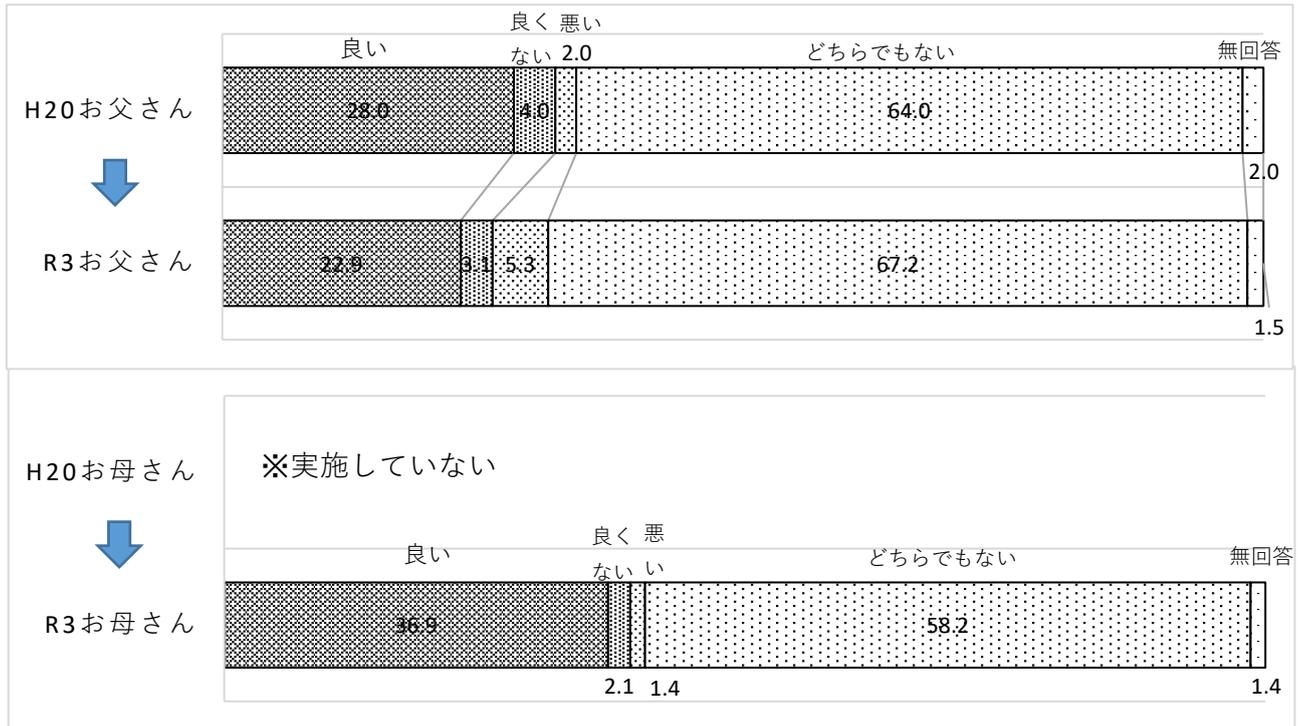
※ 皆様からいただいたコメントが多数の場合は、抜粋して掲載しています。

### ●「男女共同参画」という言葉をご存知ですか？



単位：%

●あなたの目から見て「男女共同参画」のイメージはどうか？



単位：%

<お父さんのコメント>

良い ・当然のこと(40代)

悪い ・昭和の言葉、今さら感がある(40代)  
 ・平等でなく、偏りがある為のネーミングな感じ(30代)

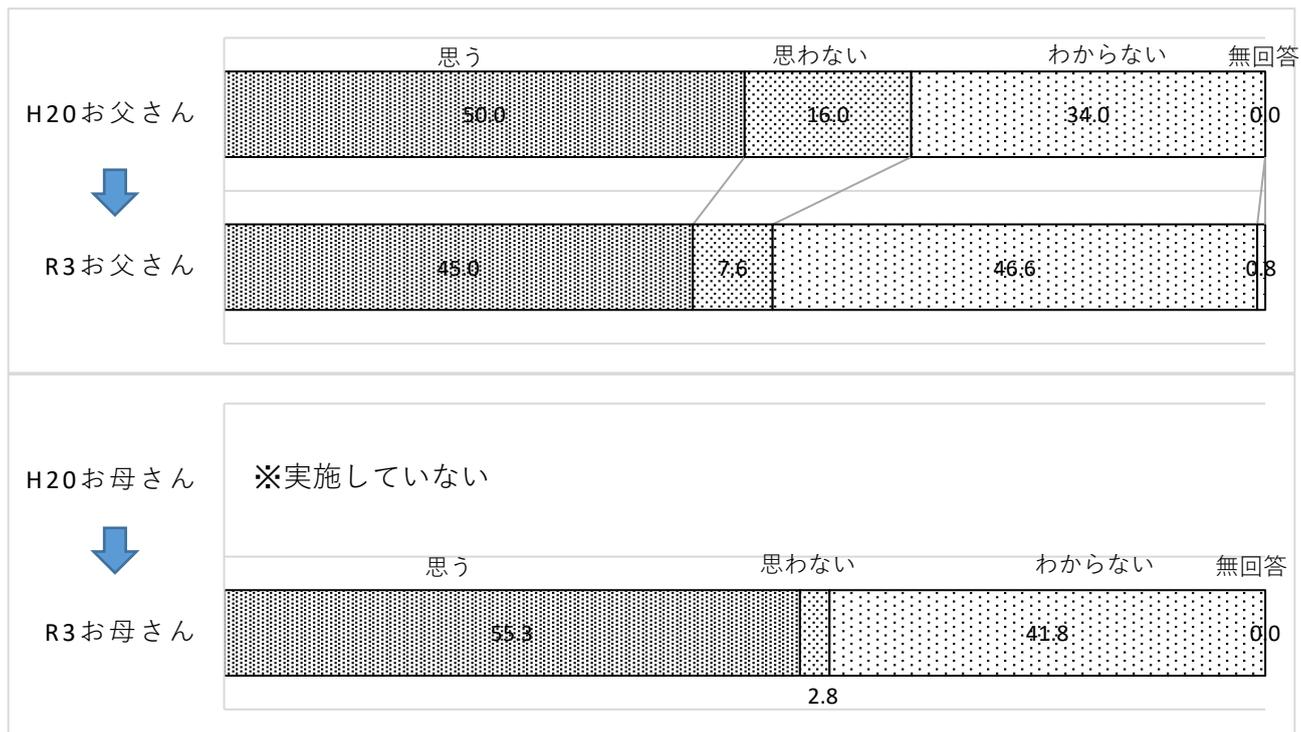
どちらでもない ・何でもかんでもおなじようにしよう、というのは、あまり良いと思わない。  
 ・男性に向いている、女性に向いているというのはあると思うので。ただ、意欲があれば、進んで行うのは良いと思う(40代)  
 ・言葉は聞いたことがあるが、キャンペーン等の働きかけがないため、何をどのように進めているのか、分かりにくい(40代)  
 ・そもそも平等などできない(30代)

<お母さんのコメント>

悪い ・人権派の権利主張の人達が集っているイメージ(30代)  
 ・男と女は違うので出来る事向いている事も違うと思う(40代)  
 ・押しつけてくる様なイメージ(40代)

どちらでもない ・言葉の響きは良いと思うが個人を尊重する社会になれば男も女もないと思う(40代)  
 ・あまり身近に感じられない。(30代)  
 ・知らなかった(40代)  
 ・言葉にするよりもあたりまえの事ではないでしょうか(40代)  
 ・わからない(言葉は知っているけど)(40代)

●学校で男女平等の教育が行われていると思いますか？

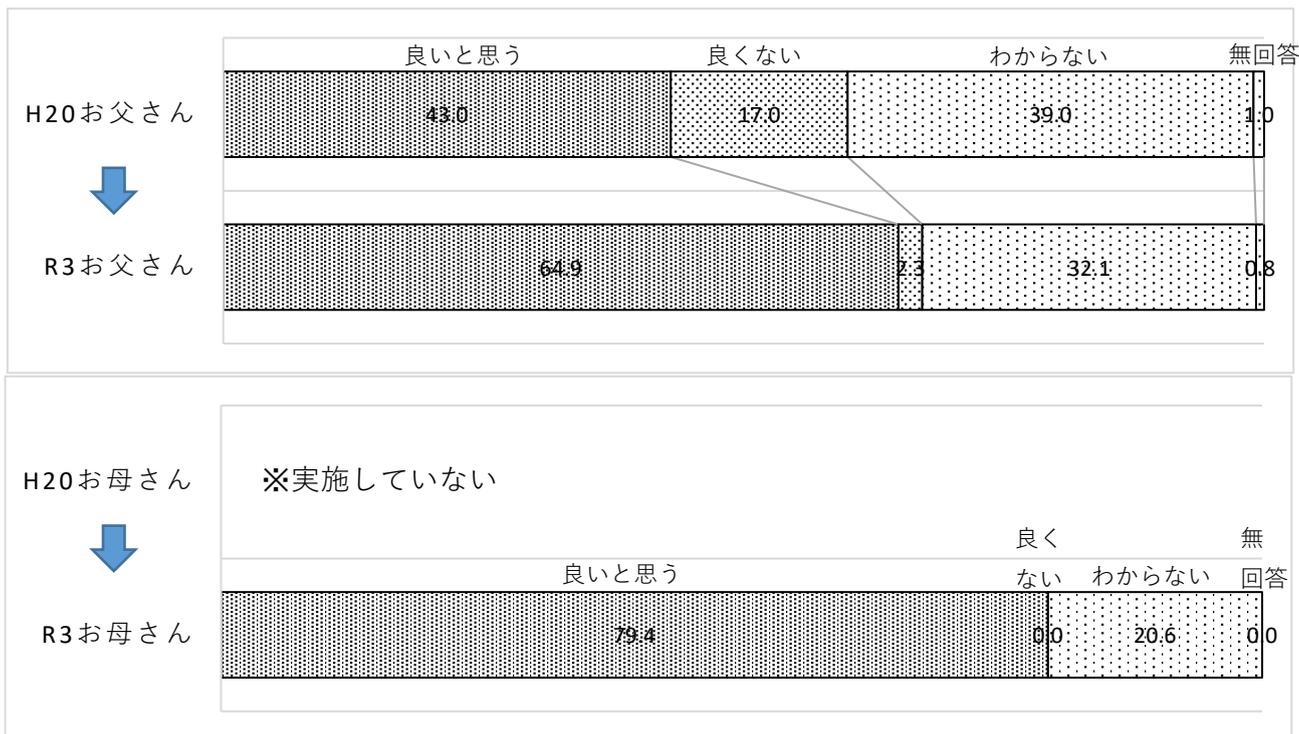


単位：%

<お母さんのコメント>

・制服土庄町は女子がスカート 小学校という気にしないで遊ぶ年齢に相応しくない。  
 高校では今年度より選べるようになっている。(30代)

## ●男女混合の出席番号をどう思いますか？



単位：%

### <お父さんのコメント>

良い ・自分が小学生の時には、男→女の順で当時は何も思わなかったが今思うとあれは不自然だったように思う(40代)  
 ・分ける必要性を感じない(40代)

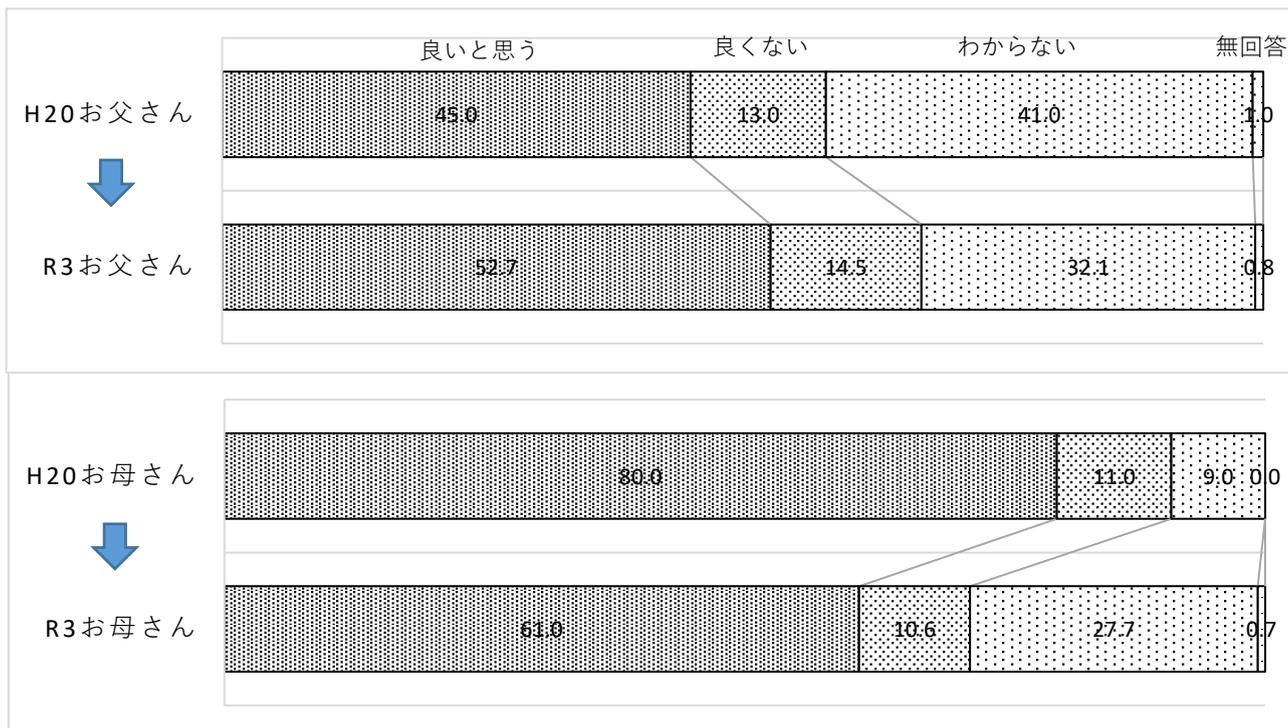
良くない・管理便宜上、男女別の方が良い(40代)

### <お母さんのコメント>

良い ・良いと思うが出席番号 それが男女平等とは思わない(40代)  
 ・自分の子供の時は男→女が普通で最初は??と思ったが大昔は男女クラスも別だった事を思うと変化はいいと思う(40代)  
 ・女や男にこだわる必要はないと思うので(40代)  
 ・個人として扱われている感じがするから(40代)  
 ・男が先という風習が嫌いだから(40代)  
 ・男子女子を分ける意味はないと思います(30代)

良くない・高学年になると男女別で行うことも増えると思うし混合でなくても良い(30代)  
 ・不便な時もあると思うから(40代)

●ご自身の子どもの頃と比較して男女平等になっていると思いますか？

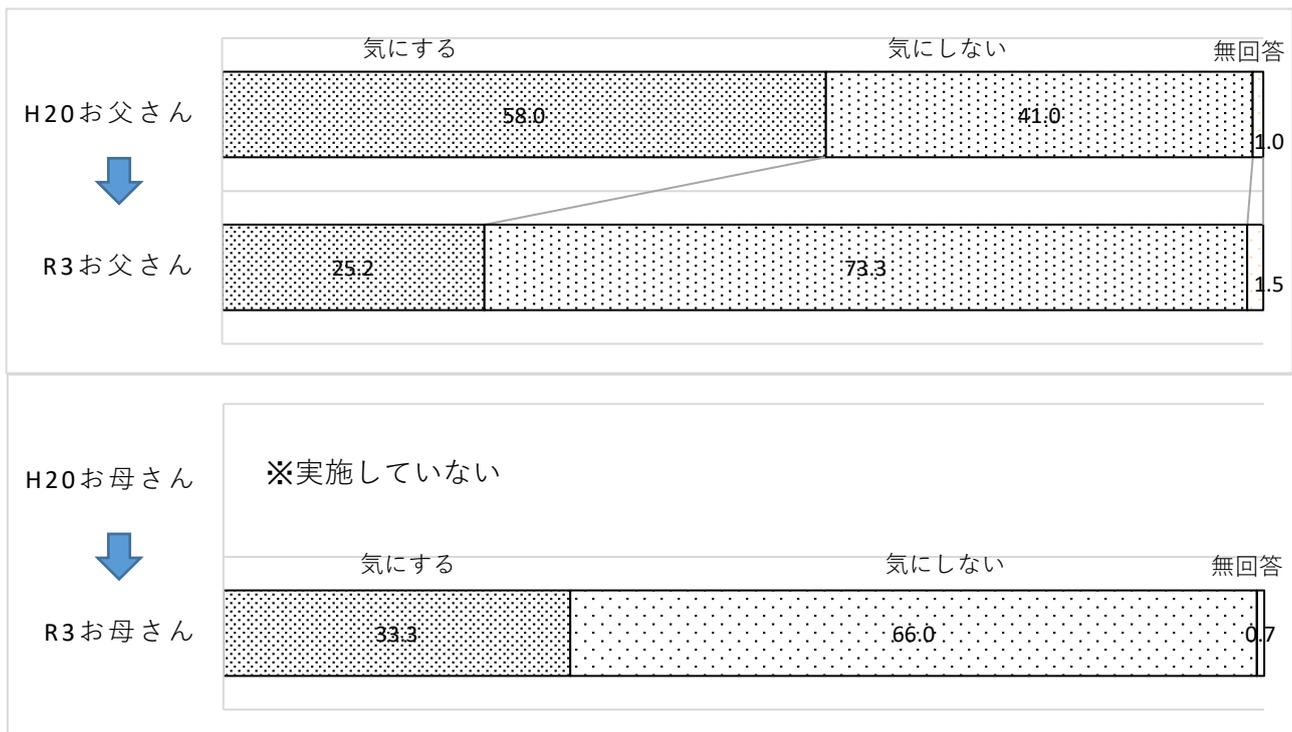


単位：%

<お母さんのコメント>

- ・昔はそんなに不平等だったのでしょうか?(40代)
- ・平等になった所、変わらない所がある(40代)

●最近ランドセルに色々な色がありますが、自分の子どもが違った色  
を欲しいと言ったらどう思いますか？

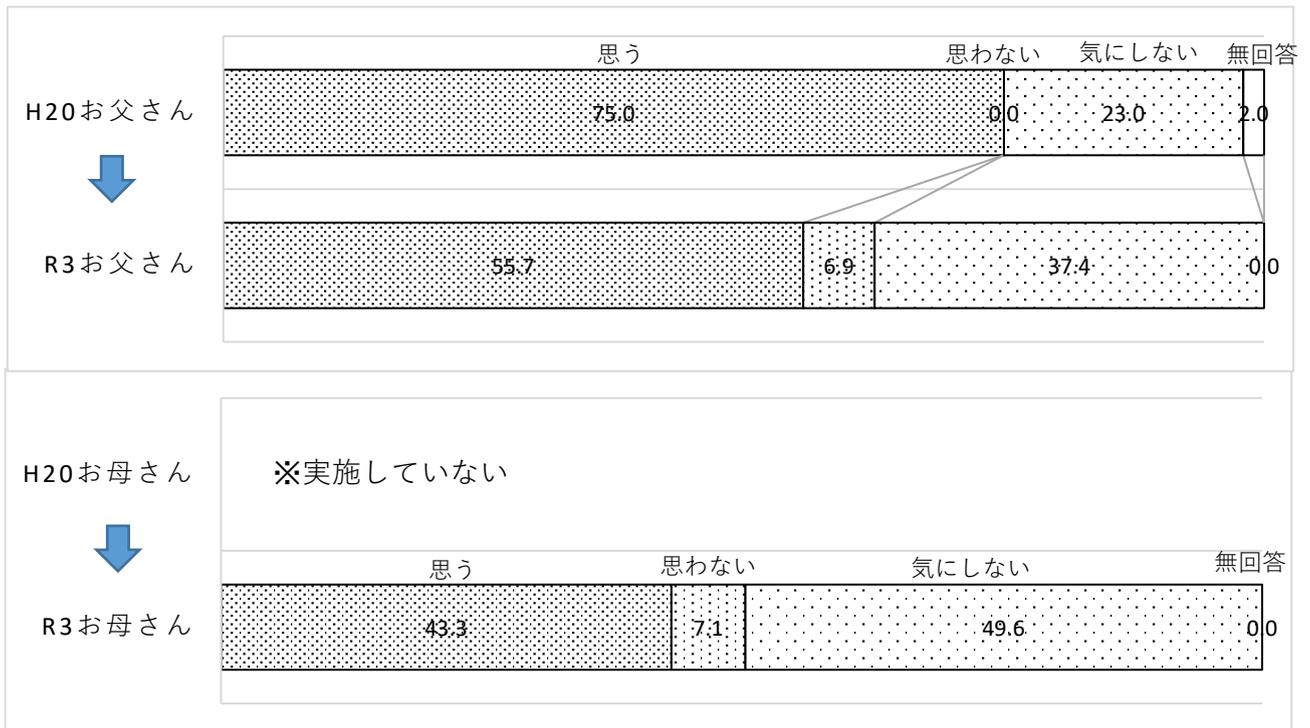


単位：%

<お母さんのコメント>

- ・いじめられないか気になる。男の子でも赤は好きだと思っている(40代)
- ・女の子の紺や茶は良いが、男の子の赤は、1・2年生のときは良いが、6年生では周りの目がありそう(40代)
- ・周りからいじめられるのでは?とってしまう(本人が異性の心だと分かっても)(20代)

●自分の子どもは「男は男らしく、女は女らしく」育てたいと思いますか？

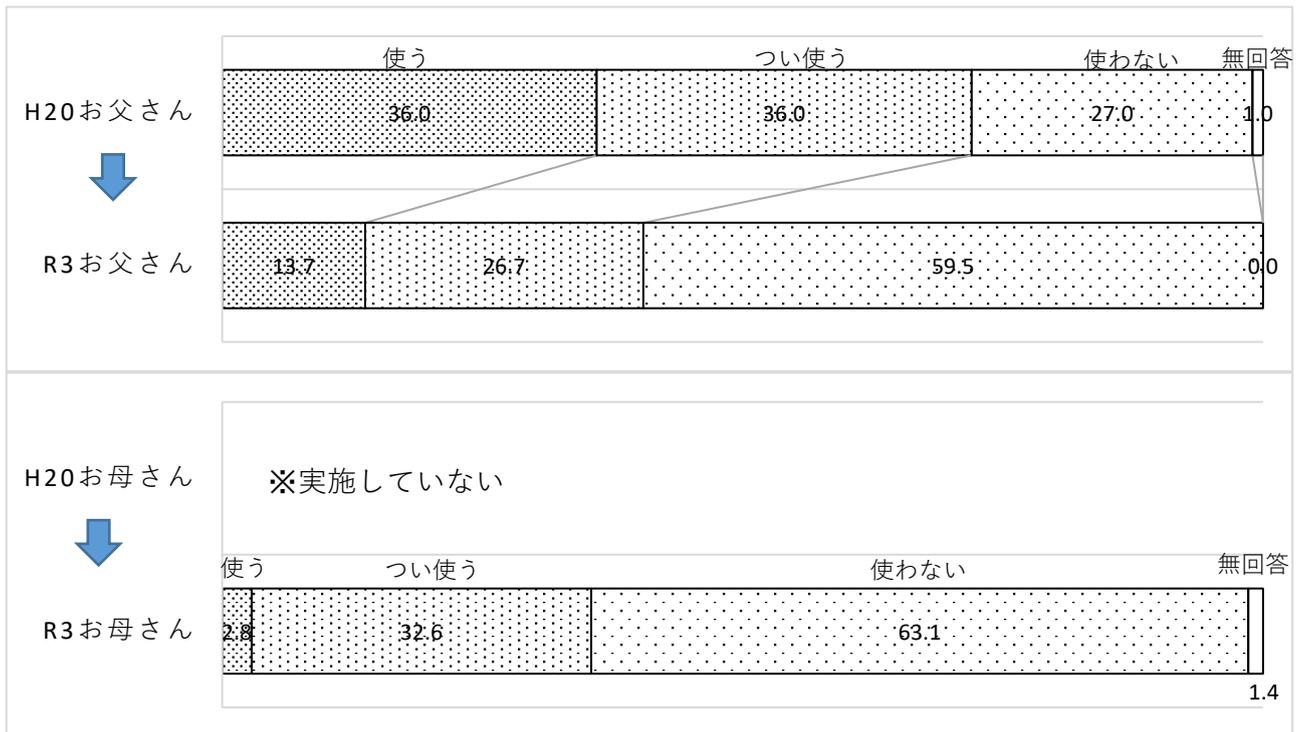


単位：%

<お母さんのコメント>

- ・その子らしく育てば良い(40代)
- ・その人らしく(40代)

●日常の中で「男のくせに」「女のくせに」という言葉をよく使いますか？



単位：%

<お父さんのコメント>

- ・使っている人を見たことがない(40代)

●育児以外で父親がよくする家事は？(複数回答可)

H20

1位	簡単な家の修理
2位	ゴミ捨て
3位	買い物
4位	お風呂掃除
5位	掃除
6位	洗い物
7位	洗濯
8位	食事の配膳
9位	料理
10位	布団干し



R3

1位	ゴミ捨て
2位	お風呂掃除
3位	洗い物
4位	買い物
5位	簡単な家の修理
6位	洗濯
7位	料理
8位	食事の配膳
9位	掃除
10位	布団干し

●母親が父親にして欲しい家事(複数回答可)

H20

1位	お風呂掃除
2位	掃除
3位	ゴミ捨て
4位	料理
5位	洗い物
6位	簡単な家の修理
7位	布団干し
8位	洗濯
9位	買い物
10位	食事の配膳



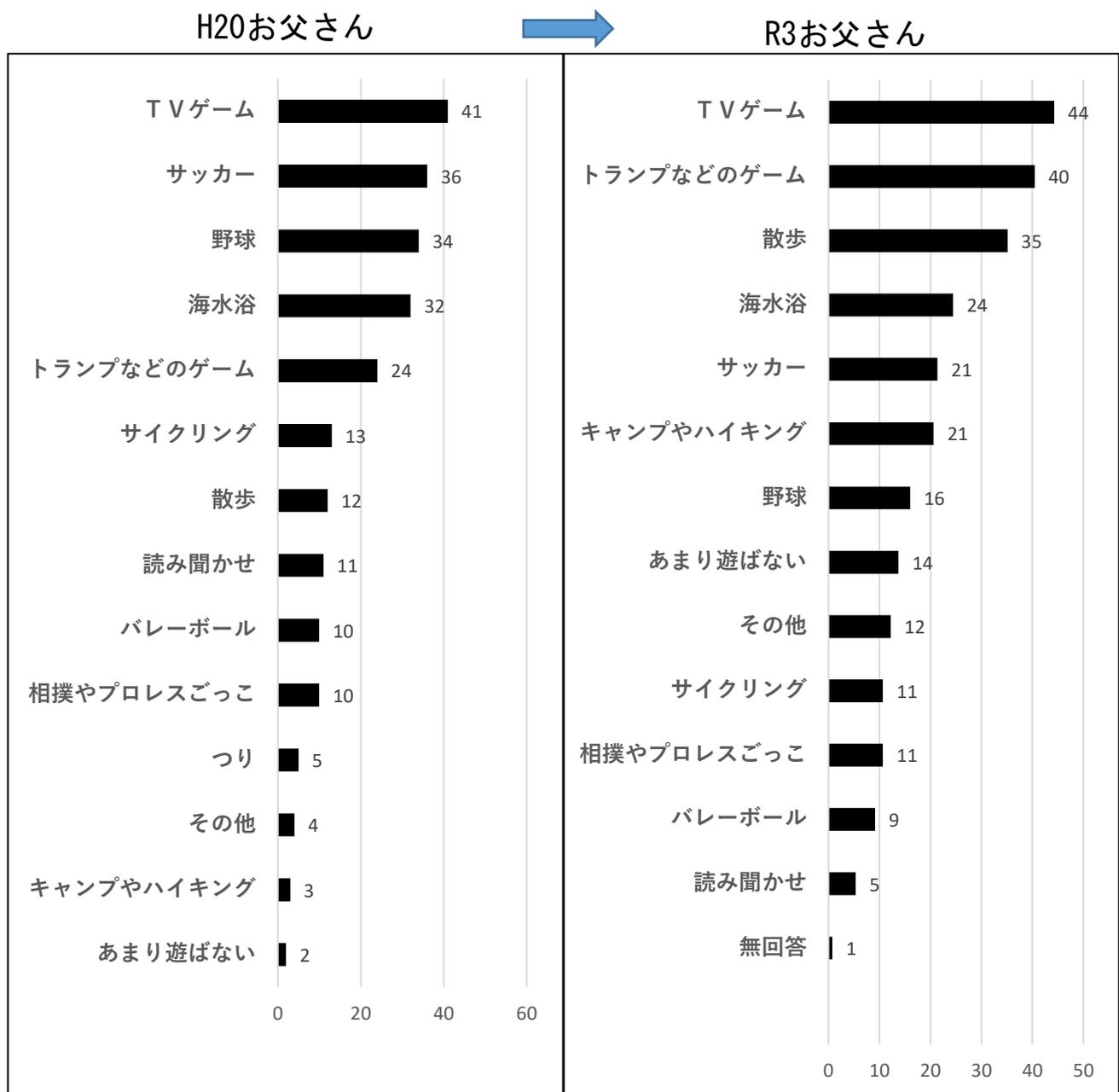
R3

1位	簡単な家の修理
2位	ゴミ捨て
3位	お風呂掃除
4位	料理
5位	洗い物
6位	掃除
7位	買い物
8位	布団干し
9位	洗濯
10位	食事の配膳

母親が父親にして欲しい家事でのその他の答えのコメント

- ・資源ごみの立ち合い当番、小学校の交通立哨。立哨では交通量のある所にまだ小さな兄弟を2人連れて出ている。逆にそちらの方があぶないので。(40代)
- ・送り迎え(40代)
- ・家事も大変なのだと理解し、感謝の気持ちを表す(40代)
- ・できる人がすれば効率が良いので全部(40代)
- ・全部してくれている(40代)
- ・できる時にしてくれたら(30代)
- ・してもらっても気になるし気に入らないと直したくなるから(40代)
- ・すでに今色々としてくれているので(30代)
- ・特になしすべて協力したい(30代)
- ・模様替え(30代)
- ・今のままで十分ですのでないです(40代)

●子どもとどんな遊びをしますか？（複数回答可）



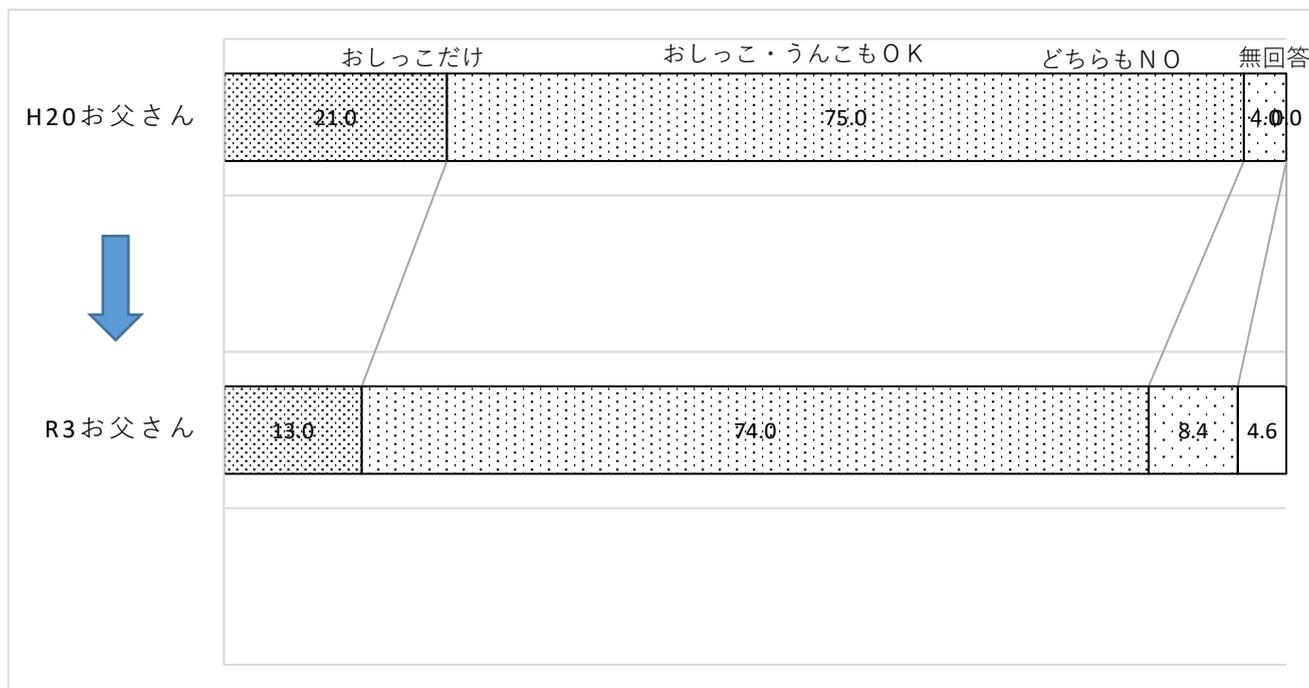
単位：%

R3の回答「その他」で多かったものは、バドミントン、釣り、バスケ、公園で遊ぶ 等でした。

他には、10年前には無かったYouTubeや、昔ながらの将棋や歌、また、バスケ、柔道、空手、ボール遊び、プール等のスポーツがありました。

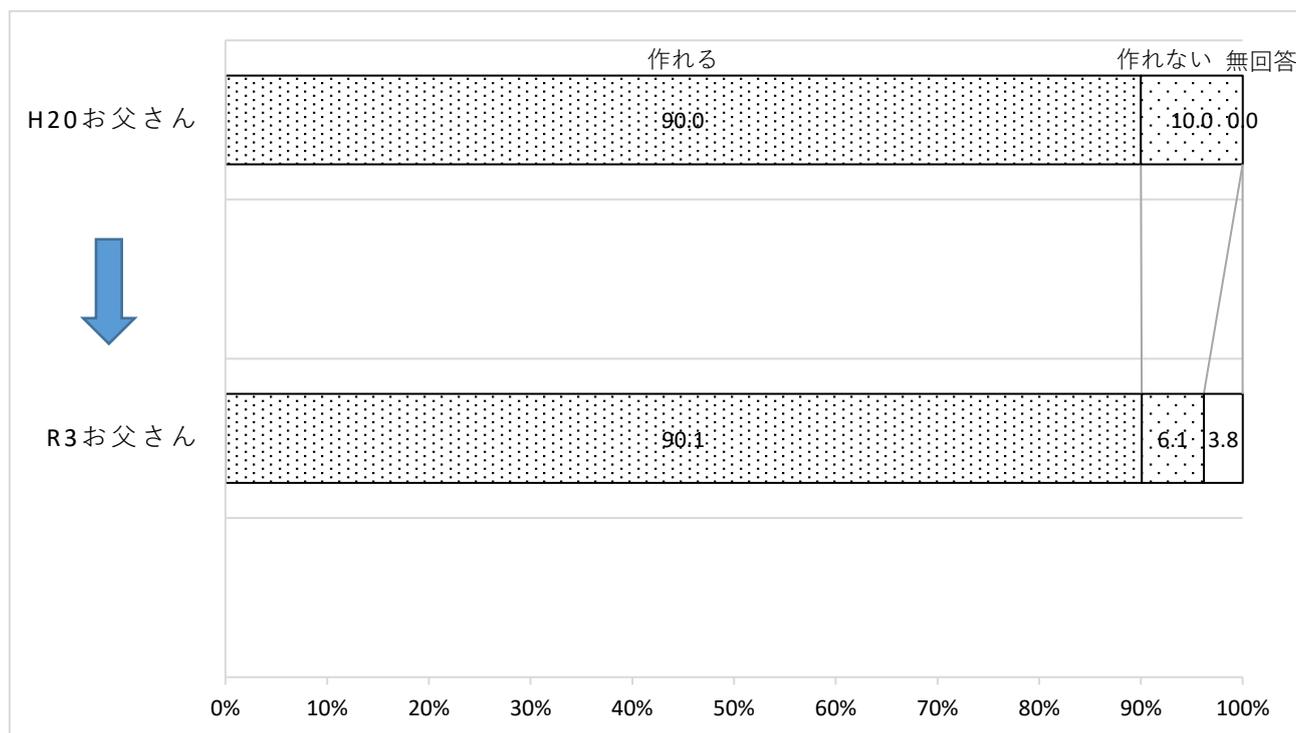
ドライブ、畑へ行く、犬の散歩、お絵描き、子ども自身が考えた遊び等々、様々な回答もありました。

●オムツ交換はしましたか？していますか？



単位：%

●子どもに食事を作れますか？（インスタントラーメンも可）

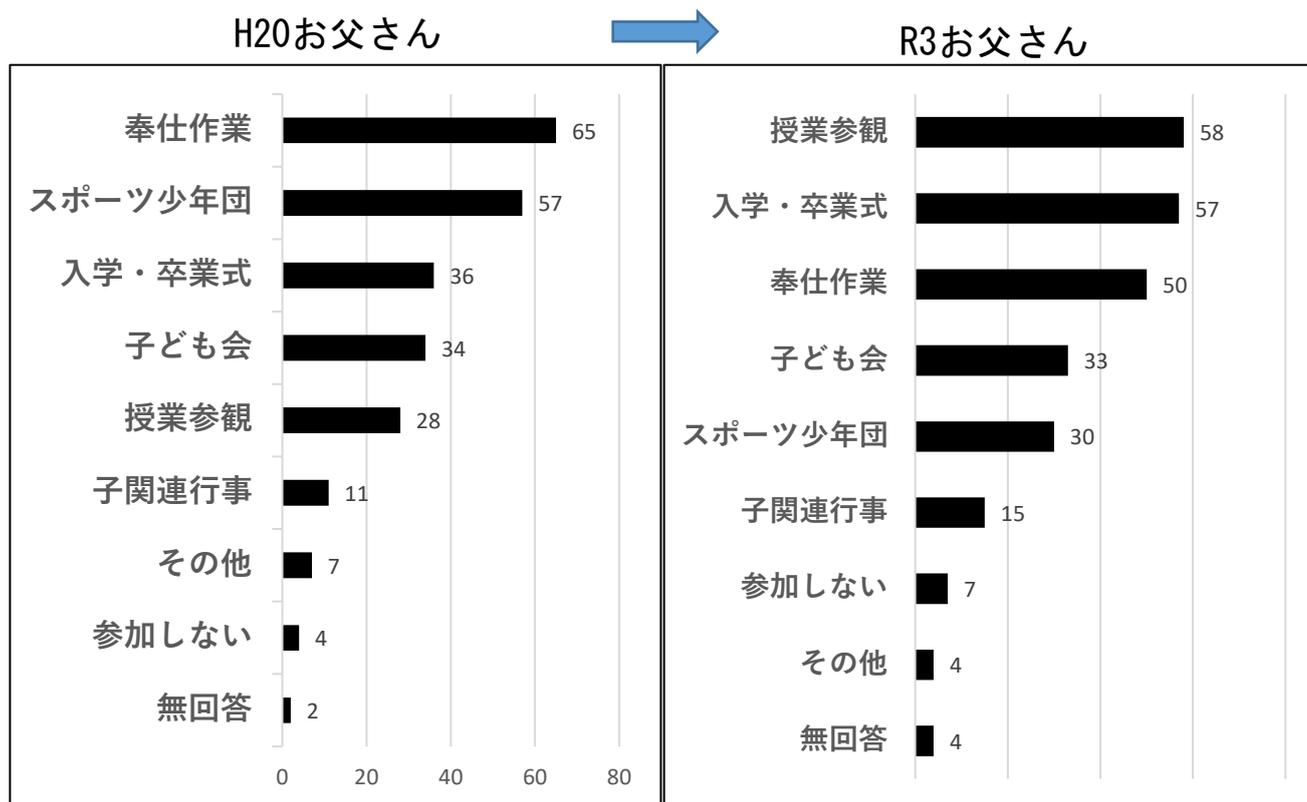


単位：%

作れる料理の上位は、1位カレー、2位何でも作れる、3位焼き飯、4位ラーメン、5位パスタでした。

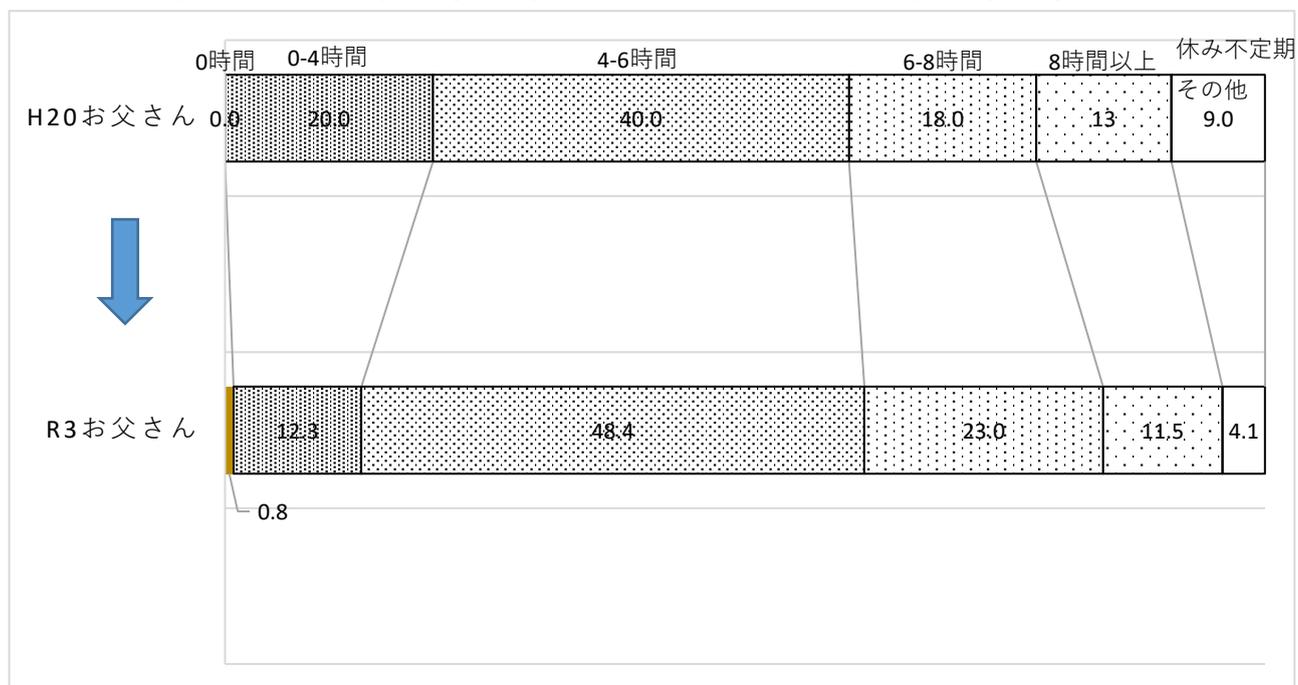
他に、中華、イタリアン、和食、粉物、揚物、丼物、鍋物、オムライス・目玉焼き・玉子焼き等の卵料理、ローストビーフ、干物等、全部で40品目以上の様々な料理がありました。

●子どもの行事に参加していますか？（複数回答可）



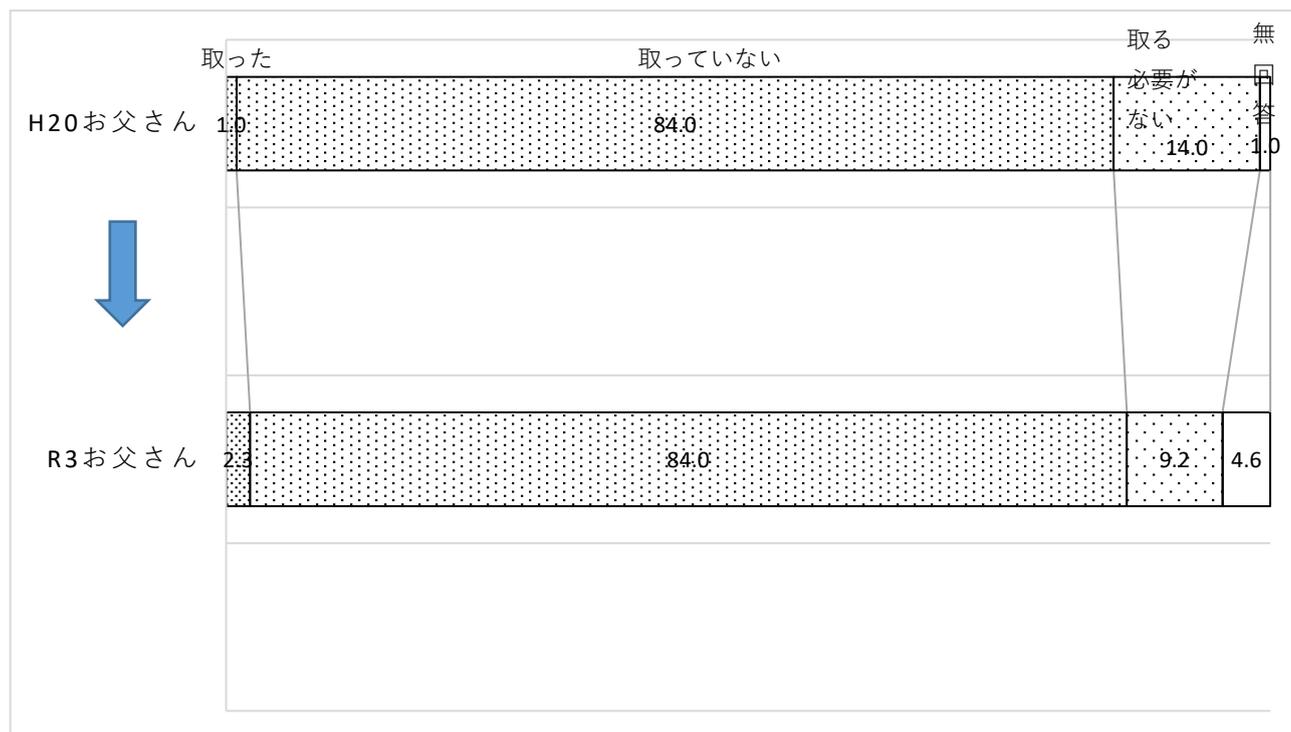
単位：%

●平日、家にいる時間は何時間ぐらいですか？（睡眠時間は除く）



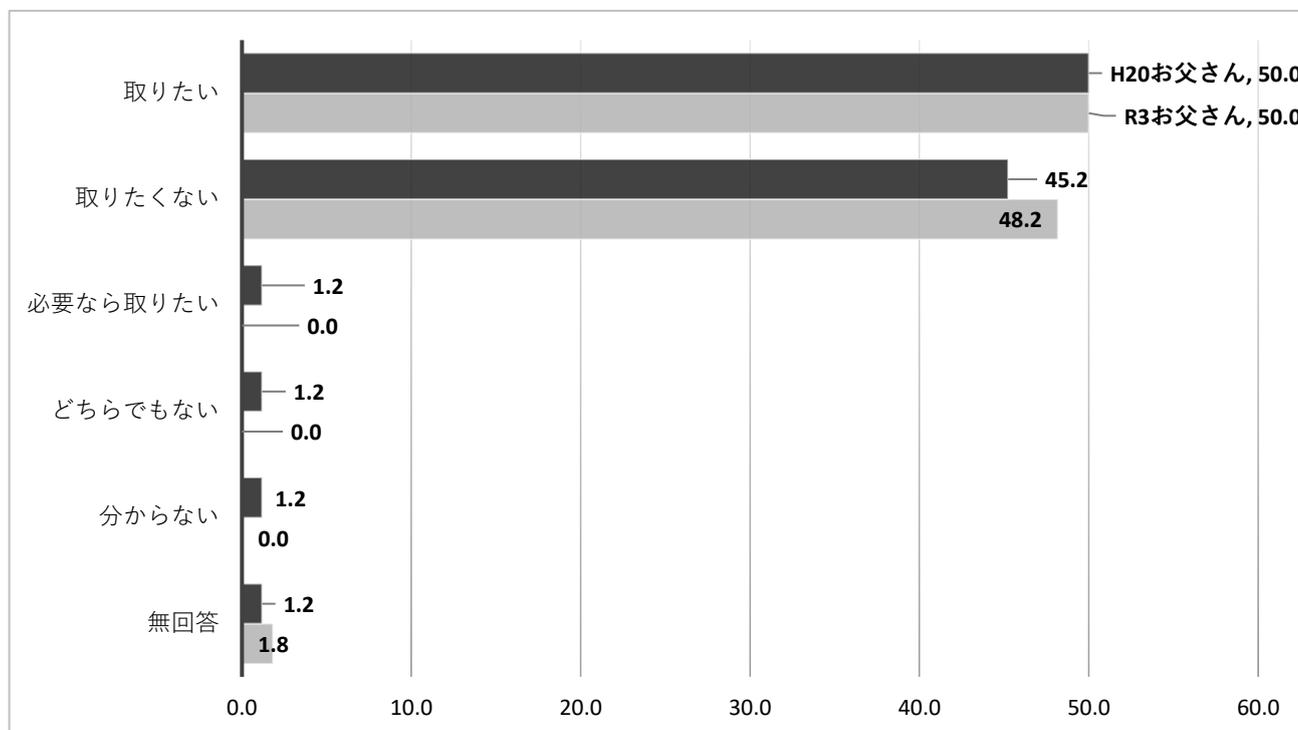
単位：%

●育児休暇はとりましたか？



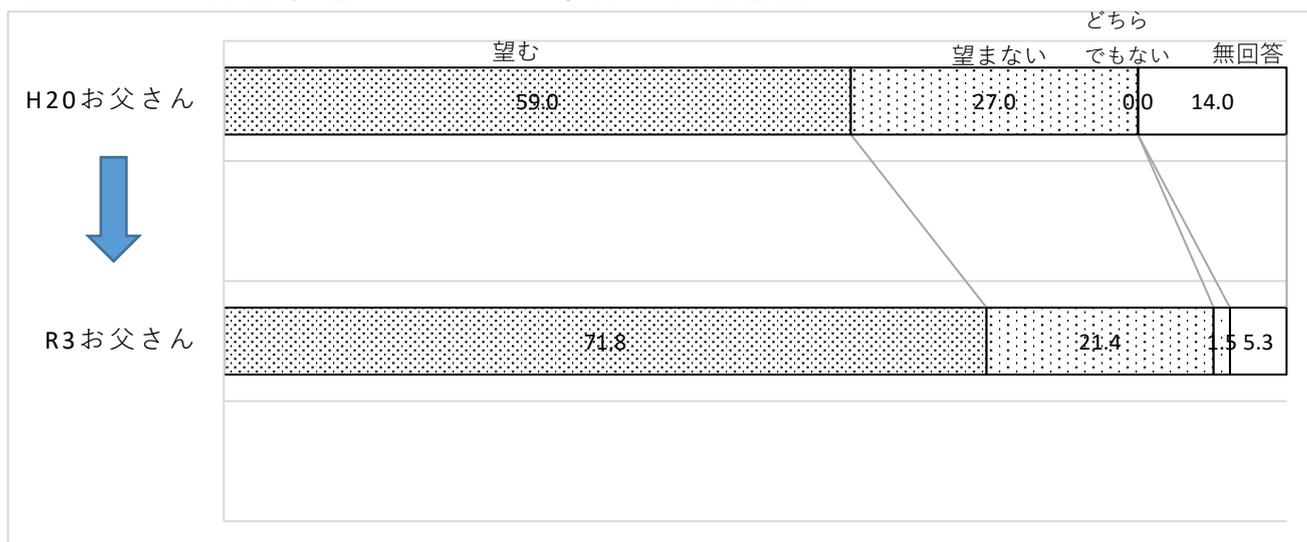
単位：%

●育児休暇を取っていない、と答えた人に質問です。令和3年1月1日からは、育児や介護を行う労働者が、子の看護休暇や介護休暇を時間単位で取得することができるようになりましたが、取りたいですか？



単位：%

●企業に育児休暇を取りやすい環境や取組を望みますか？

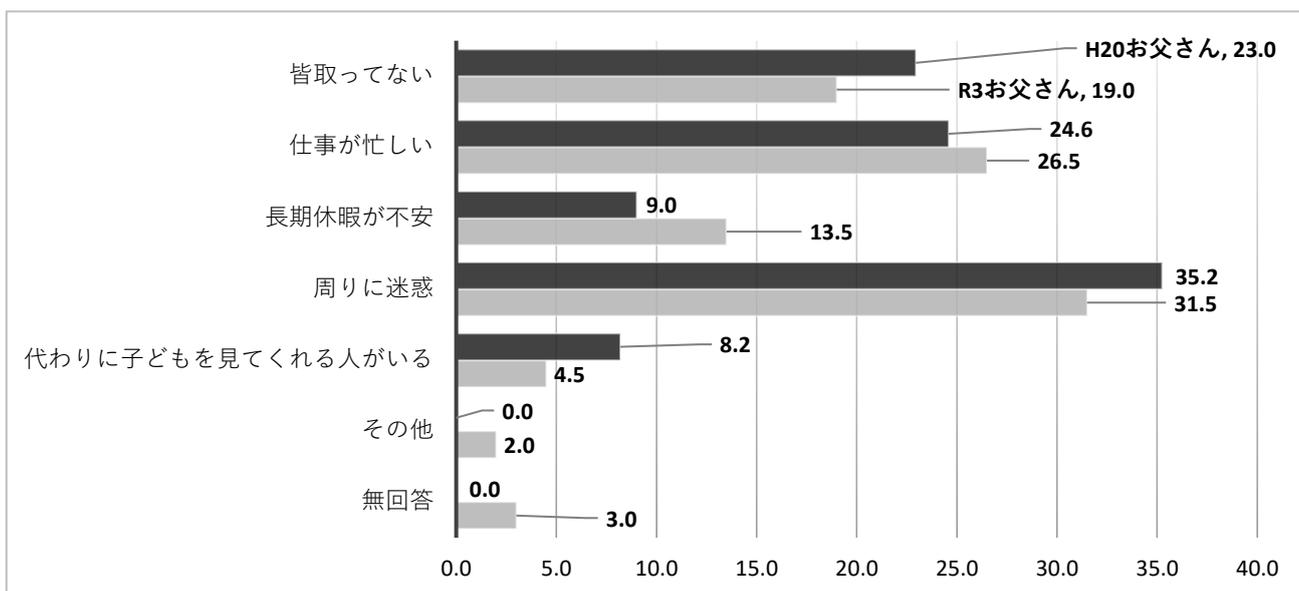


単位：%

<お父さんのコメント>

- ・法制化を望む(※本人は自営業で、育休を取る必要に(40代))

●まだまだ男性の育児休暇が取りにくい状況ですが、何故だと思いますか？

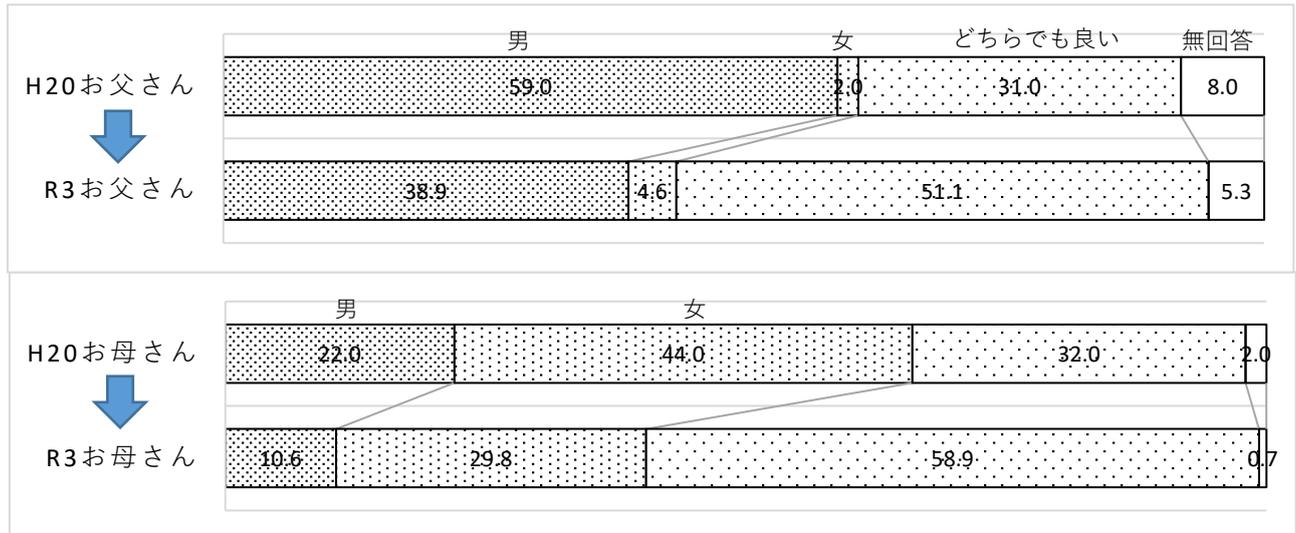


単位：%

<お父さんのコメント>

- ・まだまだ職場で理解されていない(30代)
- ・取得できる環境がないのに、先にルールだけ作って「休みましょう」となっても取得は難しい。見切り発車と言わざるを得ない。全ての職種に当てはめるべきではない(40代)
- ・家庭の収入減(40代)
- ・取る仕組みが、未熟だから(40代)

## ●生まれかわるなら、次は男ですか？女ですか？



単位：%

### <お父さんコメント>

#### 【男に生まれ変わりたい】

- ・今の性別に満足しているから(30代、40代)
- ・気楽(40代)
- ・男のことしかわからない。想像できないから(40代)
- ・やり残したことがあるから(40代)
- ・野球がしたいから。選手として甲子園に参加できるのは、男だけだから(20代)
- ・100年だけじゃ男を楽しみきれない。男でしか生きてこないから(30代)
- ・自分は女子に向いてないから(40代)
- ・(男として)女性が好きだし、出産してまで、家族の奴隷になりたくない(40代)
- ・出産が大変なので、耐えられない(40代)
- ・女は面倒くさそう(30代、40代)

#### 【女に生まれ変わりたい】

- ・男の人生はもう十分味わっているから(40代)
- ・女の経験をしてみたいから(30代)

#### 【どちらでも良い】

- ・好奇心(50代)
- ・どちらに生まれても、良い所悪い所があるので、どちらでも良い(40代)
- ・どちらも楽しいと思う(40代)
- ・選べない(40代)
- ・楽しそうだから(30代)
- ・それなりに生きる(30代)
- ・理由を書く意見が分からない(40代)

#### 【その他】

- ・行政がバカみたいな質問はやめてください。過去には女性軽視の時代がありましたが、男性は兵役があり、命をかけた時代もあります。令和になって、1つのものさしでは計れない問題だと思います。(40代)

## <お母さんコメント>

### 【男に生まれ変わりたい】

- ・太鼓に乗りたい。生理がない(30代)
- ・なんとなく(40代)
- ・女は大変(40代)
- ・性格が男寄りと言われるし小さい頃から自分でもそう思うから(40代)
- ・妊娠・出産等辛いことが多い 感動も大だが(40代)
- ・仕事だけしていたら良いイメージ(40代)
- ・社会に出る時間が羨ましくなる(30代)
- ・子供を産む側ではないから(30代)
- ・自由に生活したい(30代)
- ・男子だけしか出来ない事をやってみたいから(太鼓の横乗りとか)(40代)

### 【女に生まれ変わりたい】

- ・今が幸せだから(30代)
- ・子供を産みたいから(40代)
- ・今の自分が好きだから(30代)
- ・現状に不満を抱いていないので(40代)
- ・女の自分が好きだから(30代)
- ・男は一家の大黒柱責任が大きい。女の方がおしゃれの幅が広い(30代)
- ・男は赤ちゃんを産めないのずっと働きつづけないといけないけど女はその間少し休めるから(40代)
- ・男は面倒くさそうだから(30代)
- ・子供を産み、育てるのが楽しいから(40代)

### 【どちらでも良い】

- ・男性も経験してみたい(40代)
- ・女に生まれて嫌だと思った事は無くこのアンケートをきっかけに男に生まれていたらどんな人生になるのか考えてみると男でも楽しそうだったと思ったので(30代)
- ・どちらでも私らしく(40代)
- ・どちらでも大変だからどちらになりたいと望まない(40代)
- ・男になりたいと思うこともあるし女でよかったと思うこともあるから(50代)
- ・充実した人生が送れればどちらでもよい(50代)

### 【その他】

- ・質問がしょうもない。10年前と比較するより現在の意識調査をしては?もっと他に項目があると思います(40代)

内閣府の男女共同参画局から、男女共同参画をテーマとした副教材が作成されました。お家でも広く活用できる内容で、とってもわかりやすく、気付きをもらえる内容です！ ぜひご家庭で皆さんでご覧下さい。

#### ■「しょう太くとあやちゃん、どうしたらいいかな？」

国立大学法人お茶の水女子大学との協働 小学生向け

#### ■「みんなで目指す！SDGs×ジェンダー平等」

男女共同参画推進連携会議 次世代と共に歩むチーム 中学生向け



副教材はこのQRからもどうぞ。

### 3. 関係機関等からの感想

土庄町立土庄小学校 校長 役重 和雅

今回、土庄町で行ったアンケートの結果を見ると、10年前と比べて男女共同参画の意識は高まっていることがうかがえます。しかし、2021年3月に世界経済フォーラムが公表した「男女平等ランキング」では、日本が156か国中120位と先進国の中で最低レベルの結果となっているのです。この指数は、「経済」「政治」「教育」「健康」の4つの分野から作成されているのですが、日本は、特に「経済」「政治」における順位が低くなっているそうです。もちろん、「経済」「政治」に課題はあるかもしれませんが、まずは自分の周りの「人権」について考えることが大切なのではないでしょうか。そのことが男女共同参画社会にもつながっているように思います。

企業管理職者

男女共同参画社会の推進はとても大事なことだと考えています。

でも、現状は、男女の人権の尊重、社会における制度または慣行についての配慮、政策等の立案及び決定への共同参画、家庭生活における活動と他の活動の両立、国際的協調といった男女共同参画社会基本法の基本理念に照らし合わせてみるとまだまだな部分があります。

私たちの職場でも支店長や課長といった管理職への女性の登用は積極的に取り組んでいます。しかしながら、男性の育児休暇の取得は進んでいません。私なりに考えてみたところ、職場の雰囲気というものが大きいと考えています。私が就職したころ、まだまだ働いて家族を養うことが男性の役割であると考えの方が多かった時代でしたし、昇進等もそれを後押しするようなものであったように思います。今、会社の育休制度は整っていますが、職場が人手不足になるので育児休暇を取得し、休める雰囲気ではないという社風が今もあちらこちらに残っているように思えます。このような職場はたくさんあると考えますが、男性も女性もあらゆる分野で活躍し、ひとりひとりが豊かな人生をおくれるように職場全体で取り組んでいきたいと考えています。

土庄町総務課 課長 笹山 恵子

男女共同参画推進委員会がこれまでの取り組まれてきた活動が実を結び、家事や育児に参画する父親が確実に増え、価値観にも変化が生まれてきていることがアンケート結果から見て取れ、大変喜ばしく思います。

本町においては令和3年3月に策定した「次世代育成支援及び女性活躍推進 特定事業主行動計画」に基づき、職場における女性の活躍とワーク・ライフ・バランスの推進に取り組んでいるところです。

本計画の中では、男性職員の育児休業の取得も目標の一つとしていますが、まだまだ育児休業を取得する男性職員が少ない状況にあります。アンケートの中でも、職場に育児休暇を取りやすい環境の整備に取組を望む声は増えており、役場がモデルケースとなれるよう、育児休業が取得しやすい職場環境の構築と働き方改革の推進に、引き続き邁進したいと思います。

土庄町立富丘文化センター 館長 中澤 宏

最近、「男女共同参画」という言葉をめったに聞かなくなったように思います。「男女共同参画」という言葉は聞いたことはあるが、詳しい意味が分からないというのが現実だと思われれます。しかし、アンケート結果（コメントも含め）からも分かるように、家庭（家事・子育て等）においては、この言葉・意味を知らずとも、年齢が下がるにつれ、男女が共同で行うことが当たり前になってきているように感じます。これはとてもすばらしいことだと思います。反面、高齢者になればなるほど、なかなか浸透していないのではないのでしょうか。

さらには、社会においては、なかなか浸透していないことが伺えます。このことが一番の問題であると感じています。

今後は、社会全般に全ての年齢層に「男女共同参画」が浸透していくような対策が急務だと感じました。

このアンケートが、話し合うきっかけとなり、  
みなさまの毎日が「ありがとう」の笑顔で  
いっぱいになりますように。

